

榛東村社会教育系施設長寿命化計画 (個別施設計画)

【平成 31 年度～平成 40 年度】

榛東村

教育委員会事務局 生涯学習班

1 本村の所有する住民文化系施設

No	建物名称	所在地	建築年 度	延床面積 (㎡)	構造	階層
1	耳飾り館	山子田 1912	1993	979.80	鉄骨造	1

2 計画期間

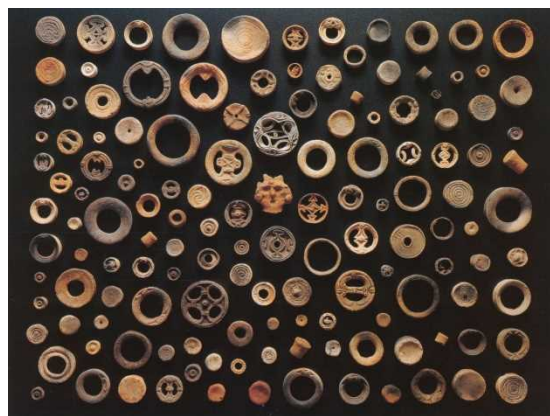
本計画の期間は、平成 31 年 4 月から平成 41 年 3 月まで（10 年間）とする。

なお、計画の内容については、各施設の点検結果、劣化状況、利用者の状況等に応じて 5 年ごとに見直しを行うものとする。

3 対策の優先順位

平成 5 年に建築されてから既に 25 年が経過し諸施設の老朽化が目立ち始めている。平成 20 年には榛東村耳飾り館再生検討委員会が開催され施設を維持していく方針が決定された。今後も役割や利用率、運営経費等を勘案しながら限られた財源の中でどのようなサービス・機能を提供していくべきか施設のあり方について検討する。

文化財の保存環境に関する対策とその他建物等修繕に関する対策について、優先順位を付けてバランスよく行う。



4 対象施設の状況等

(1) 健全度の算定

健全度とは各建物の 5 つの部位について劣化状況を 4 段階で評価し、100 点満点で数値化した評価指標である。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を 100 点満点で算定する。なお、利用者に子供もいることから施設の安全面を考慮し算定基準は学校施設の長寿命化計画算定基準を準用する。

① 部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

② 部位のコスト配分

部位	コスト配分
屋根・屋上	5.1
外壁	17.2
内部仕上げ	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
計	60

③ 健全度

総和 (部位の評価点×部位のコスト配分) ÷60

部位	所見	評価
屋根・屋上	特に異常なし	B
外壁	30年度に雨漏り修繕済	B
内部仕上	空調機不調	C
電気設備	築25年以上経過	B
機械設備	築25年以上経過	B

特記事項	健全度
築25年経過しているため全体的に老朽化しており特に空調関係については注意が必要	62

(2) 維持管理・修繕などが必要な事項について

① 収蔵庫に入れるべきではない物の処分

展示パネル、アクリルケース、展示台などの物置及び廊下等を整理する。不要な看板を処分する。

② 重文の保管箱

現在のプラスチック製ケースから、文化財収納用として推奨される木製保存箱を購入し入れ替える。

③ 収蔵庫の空調管理

24時間エアコンを入れる。湿度計を設置する。

④ 展示照明器具の交換

展示照明器具が1つずつ作動しなくなっているが生産中止の器具もある。展示照明をこれまでのハロゲンランプから、光源から熱を発生しない、紫外線を出さないLED照明に切り替える。展示器具の個数を考えると、点灯不能になった1台ごとに付け替えの工事を行うのは現実的ではない。一斉といかなければ経路ごとに数年計画で、器具が変われば展示効果が変化するため、工事は展示業者に依頼する。

⑤展示以外の照明器具の交換

事務室・ロビー・トイレなど展示室以外の照明器具についても耐用年数を超えてきており、1台ごとの器具交換が始まっている。緊急に対応できるだけの予算配分が今後とも必要。

⑥空調設備の交換

空調機器（2階一括管理、1階個別管理）が25年使用しており老朽化している。展示室で空調運転中に非常に不快な高音が発生することがあり、見学の妨げになる。スイッチを入れたり切ったりして、7、8年使用している。業者が確認したが原因は不明で、使用年数から機械は換え時であるとのこと。

⑦ブラインドの交換

館内ロビーのブラインド（紐切れ、傷み、変色）をロールスクリーンに変更（一括が無理であれば分割で交換）。

⑧玄関ポーチ床面のヒビ

内部の土の流出が原因か、表面にヒビが見られるので顕著化しないうちに修繕する。

⑨庭西側のプレハブの取替

ほうき、クマデ、箕、ホースなどの庭清掃管理道具、スコップ、鋤簾などの発掘道具の収納場所として使用しているプレハブが耐用年数を超えている。中に納めている道具を館内に置くことは難しいので新しい物に変えたい。

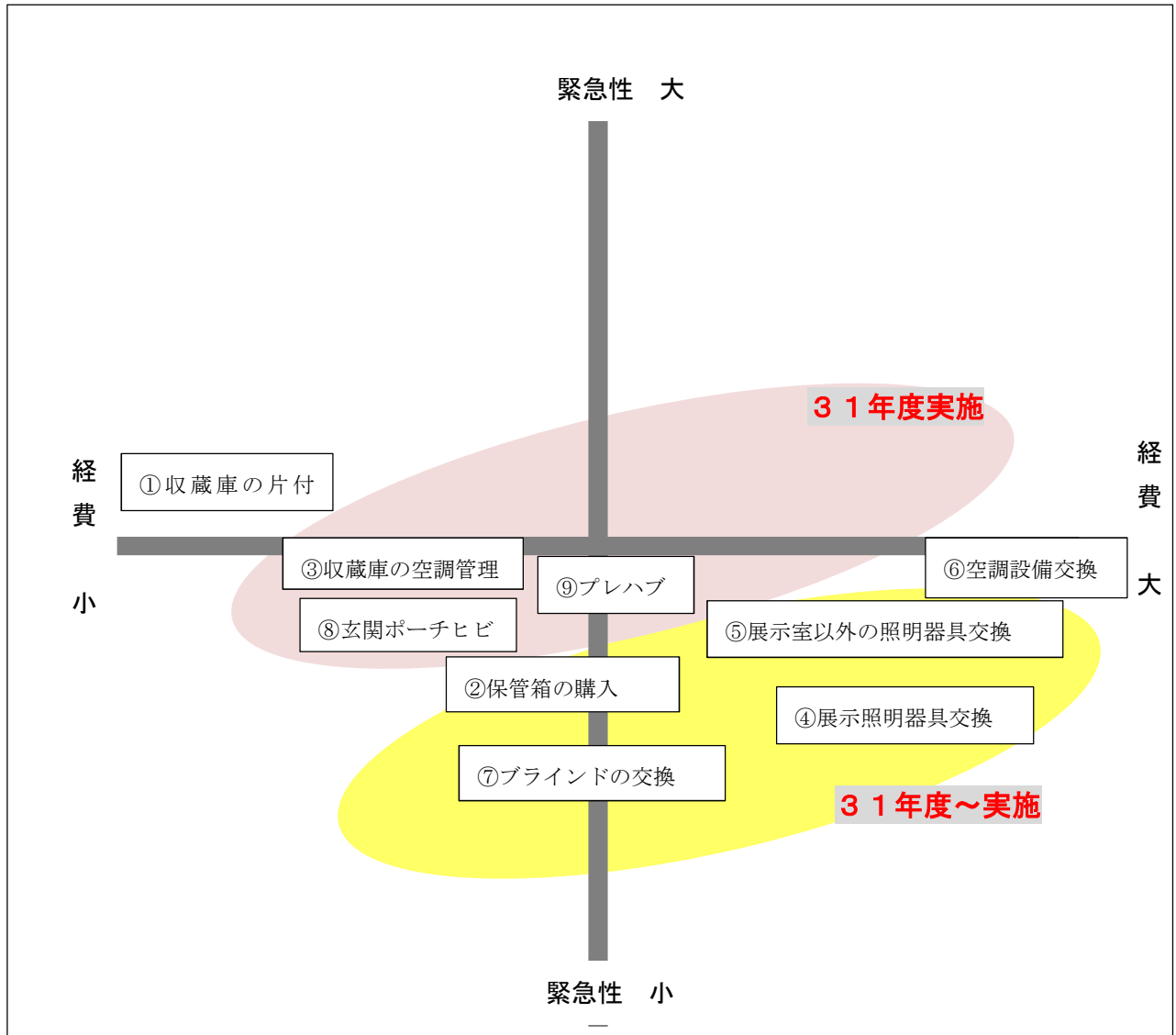
※①～④、⑤は資料の保存環境に関すること。

5 対策内容と実施時期

榛東村耳飾り館は、縄文時代後晩期の集落（約3000年前）である茅野遺跡から多数の土製耳飾りが出土したことから、これを展示・紹介することを目的として開館した。

常設展示室では、土製耳飾りをはじめ、縄文土器、土版、岩版、石棒、手燭 形土製品などの茅野遺跡出土品（国指定重要文化財）をメインとして、世界の5大陸から収集した約1000点の耳飾りが展示されている。

現在の施設機能を保持し老朽化やそれに伴う維持管理費の増加に対応できるよう計画的保全管理を行い施設の長寿命化を図る。村内及び広域圏内において集約化を図れる代替施設もないことから榛東村耳飾り館再生検討委員会の方針に基づき施設機能を維持していく。



6 対策費用

(1) 平成32年度実施

・空調設備交換 1,780,000 円

(2) 参考概算費用

・大規模改修 244,750,000 円

・改築 391,600,000 円